

報告第 1 号 黒部市地域公共交通網形成計画の進捗状況について

資料 5

1. 黒部市地域公共交通網形成計画の評価の考え方

(1) 黒部市地域公共交通網形成計画における確認・評価・検証の考え方

- ・平成 27 年 4 月に策定した「黒部市地域公共交通網形成計画」は、平成 27 年度から平成 31 年度を計画期間としている。
- ・黒部市地域公共交通網形成計画の実施にあたっては、計画に基づく事業の実施状況、目標指標の達成状況を定期的に確認・評価・検証を行い、改善や見直しを図る P D C A サイクルに基づき進捗管理することとしている。



- ・確認・評価・検証にあたっては、1 年ごとの P D C A サイクルと計画期間全体の P D C A サイクルによる二輪のサイクルを組み合わせて進捗管理を行う。
- ・また、北陸新幹線開業やまちづくりの進展に伴い、公共交通環境が大きく変化していることから、1 年ごとの P D C A サイクルを着実に実施し、必要に応じた計画の見直しを行う。

	計画期間のPDCA	1年ごとのPDCA
P(計画)	地域公共交通網形成計画の策定	各路線の運行計画、利用促進策、個別事業の実施計画策定
D(実施)	計画に基づく各種事業の実施	各路線の運行、個別事業の実施
C(評価)	事業実施による目標指標の評価	運行状況、利用状況の評価 事業実施効果の評価
A(改善)	地域公共交通網形成計画の見直しの検討	運行計画、利用促進策、個別事業計画の見直しの検討

2. 黒部市内公共交通の利用状況

(1) 黒部市内公共交通の概要

- ・黒部市では、広域交通軸として南北に縦断する北陸新幹線、地域交通軸として海岸部付近を南北方向に走るあいの風とやま鉄道、市域を東西方向に走る富山地方鉄道本線が骨格となり、地域の状況に応じたバス路線、コミュニティタクシー、デマンド交通によるネットワークが形成されている。
- ・市東部の宇奈月温泉地区では、観光列車として有名な黒部峡谷鉄道が運行する。
- ・平成 27 年度以降、黒部市地域公共交通網形成計画に基づいて路線バス、デマンドタクシーの新設及び見直しや社会実験が行われている。平成 30 年度は、南北循環線の一部減便を 10 月から行った。

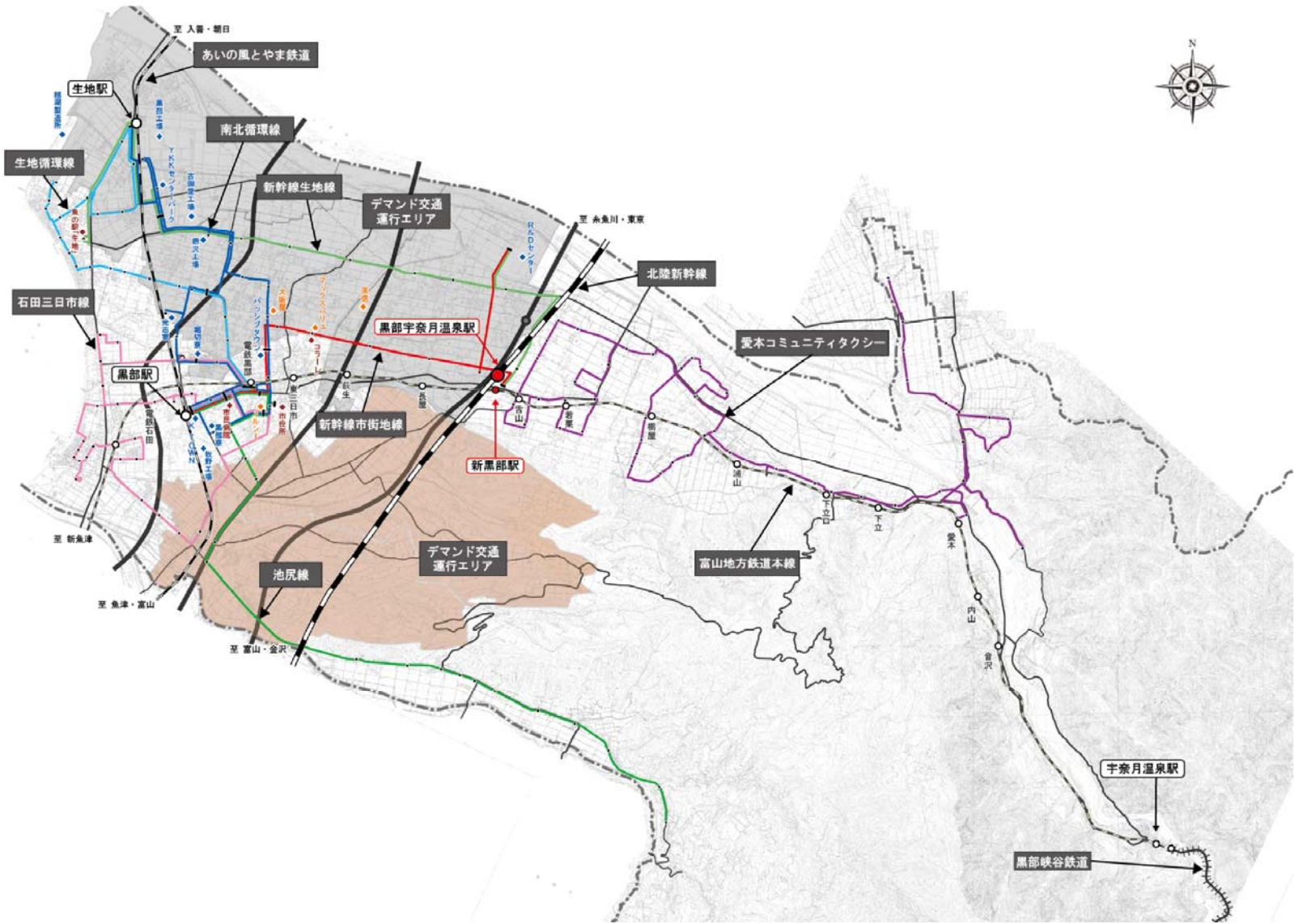


図 黒部市の公共交通網(平成 31 年 3 月末時点)

（２）【鉄道】北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅における乗降調査結果

北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅の利用状況を把握するため、乗降調査を行った。

実施方法：黒部宇奈月温泉駅改札を通過する利用者を目視により計数調査

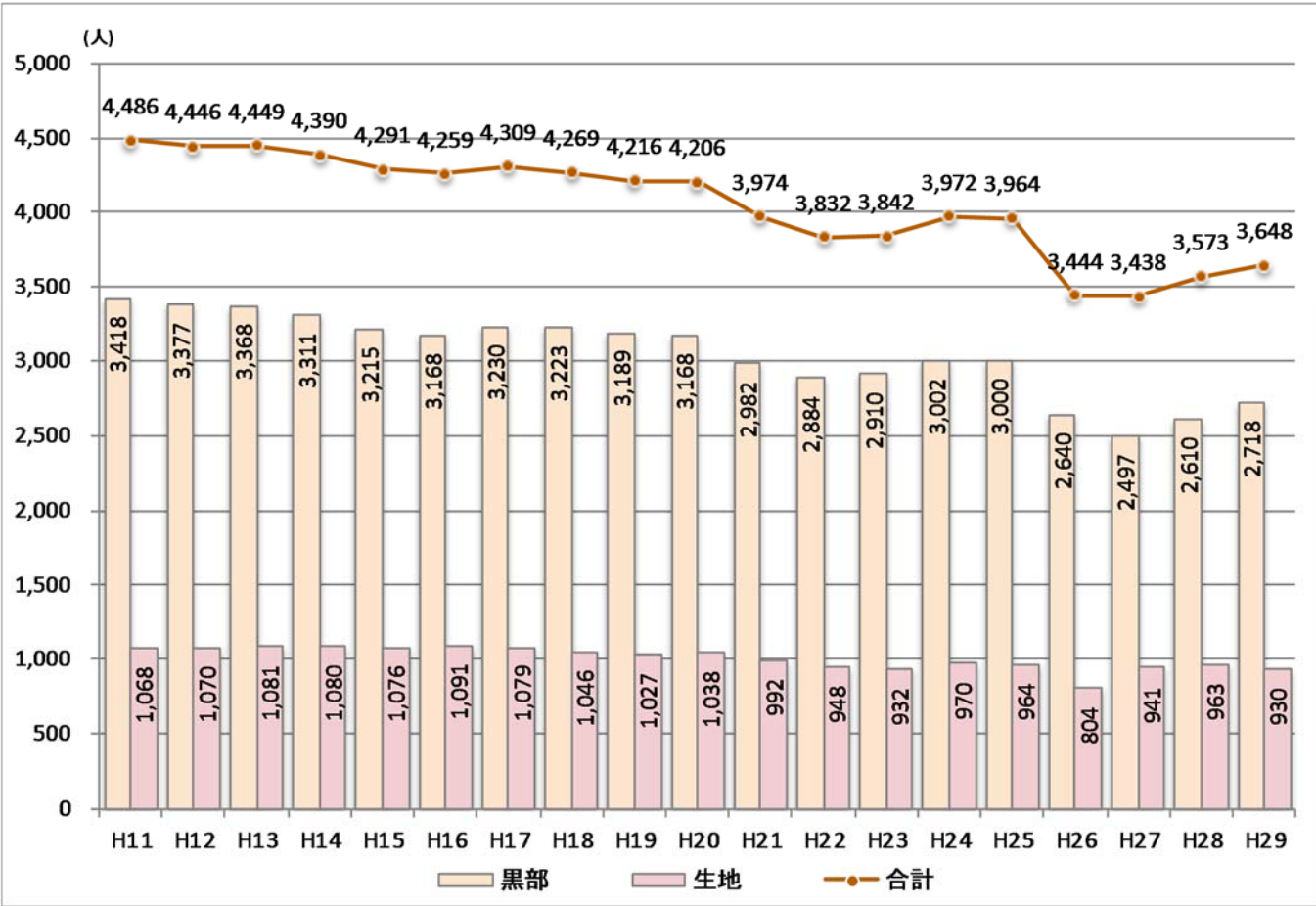
実施時間：6 時～22 時台（終電到着後一定時間まで）

- ・ 昨年同時期の乗降人数と比較すると 8 月 10 日、11 月 5 日、2 月 7 日、2 月 10 日は上回っており、昨年度と同等の乗降者数の傾向である。
- ・ 平日はビジネス乗降割合が高い傾向が続いている。お盆直前の調査（8 月 10 日調査）ではビジネス乗降割合が他時期と比較して低くなっている。
- ・ 帰省シーズンに乗降人数が増えており、5 月 3 日と 8 月 10 日は 1 日あたりの乗降人数が 3,000 人以上となっている。
- ・ 観光シーズンの 11 月 4 日では昨年度と比較して、大幅に少なくなっている。

調査日	H30 年度							H29 同期 乗降人数	乗降人数 対 H29 割合 (H30/H29)	H28 同期 乗降人数	乗降人数 対 H28 割合 (H30/H28)	備考 昨年度 実施日
	乗車 人数 (a)	うち ビジ ネス	降車 人数 (b)	うち ビジ ネス	乗降 人数 (a+b)	うち ビジ ネス	ビジ ネス 割合					
平成 30 年 5 月 3 日 (木・祝)	1,462	28	1,797	41	3,259	69	2.1%	3,641	89.5%	3,407	95.7%	平成 29 年 5 月 3 日 水・祝
平成 30 年 6 月 21 日 (木)	692	337	818	372	1,510	709	47.0%	1,581	95.5%	1,516	99.6%	平成 29 年 6 月 22 日 (木)
平成 30 年 6 月 24 日 (日)	860	54	960	50	1,820	104	5.7%	2,070	87.9%	2,422	75.1%	平成 29 年 6 月 25 日 (日)
平成 30 年 8 月 10 日 (金)	1,339	242	1,838	216	3,177	458	14.4%	3,127	101.6%	3,132	101.4%	平成 29 年 8 月 10 日 (水)
平成 30 年 11 月 4 日 (日)	1,313	59	1,563	45	2,876	104	3.6%	3,757	76.6%	2,989	96.2%	平成 29 年 11 月 5 日 (日)
平成 30 年 11 月 15 日 (木)	940	388	1,075	455	2,015	843	41.8%	1,789	112.6%	1,758	114.6%	平成 29 年 11 月 16 日 (木)
平成 31 年 2 月 7 日 (木)	690	347	733	350	1,423	697	49.0%	1,224	116.3%	1,236	115.1%	平成 30 年 2 月 1 日 (木)
平成 31 年 2 月 10 日 (日)	1,008	55	982	48	1,990	103	5.2%	1,788	111.3%	1,940	102.6%	平成 30 年 2 月 11 日 (日)

（３）【鉄道】あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)の利用状況

- ・ あいの風とやま鉄道（旧 J R 北陸本線）の 1 日平均乗降客数は、長期的には減少傾向にある。
- ・ 新幹線開業に伴う特急の廃止等による影響で、新幹線開業前の平成 26 年度利用者数の落ち込みが大きかった。しかし、平成 27 年度では前年と比べほぼ横ばい、平成 28 年度以降は増加傾向に転じている。



上図 あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)市内駅の 1 日あたり乗降客数の推移
下表 あいの風とやま鉄道黒部市内鉄道駅の 1 日あたり乗降客数前年比
(出典:平成 26 年は平成 27 年 3 月 13 日まではJR西日本、平成 27 年 3 月 14 日以降はあいの風とやま鉄道)

	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
黒 部 駅	103.7%	98.8%	99.7%	98.3%	97.1%	98.5%	102.0%	99.8%	98.9%	99.3%	94.1%	96.7%	100.9%	103.2%	99.9%	88.0%	94.6%	104.5%	104.1%
生 地 駅	97.4%	100.2%	101.0%	99.9%	99.7%	101.4%	98.9%	96.9%	98.2%	101.1%	95.6%	95.6%	98.3%	104.1%	99.4%	83.4%	117.0%	102.3%	96.6%
合 計	102.1%	99.1%	100.1%	98.7%	97.7%	99.3%	101.2%	99.1%	98.8%	99.8%	94.5%	96.4%	100.3%	103.4%	99.8%	86.9%	99.8%	103.9%	102.1%

（４）【鉄道】富山地方鉄道本線の利用状況

- ・富山地方鉄道本線の平成 29 年度の 1 日平均乗降客数は、前年度比で増加しており、半数以上の駅で前年度の 1 日平均乗降客数を上回った。
- ・前年度比で減少している駅のうち、新黒部駅のみ前年度比較約 9.6％減となっており、減少幅が他に比べて大きい。

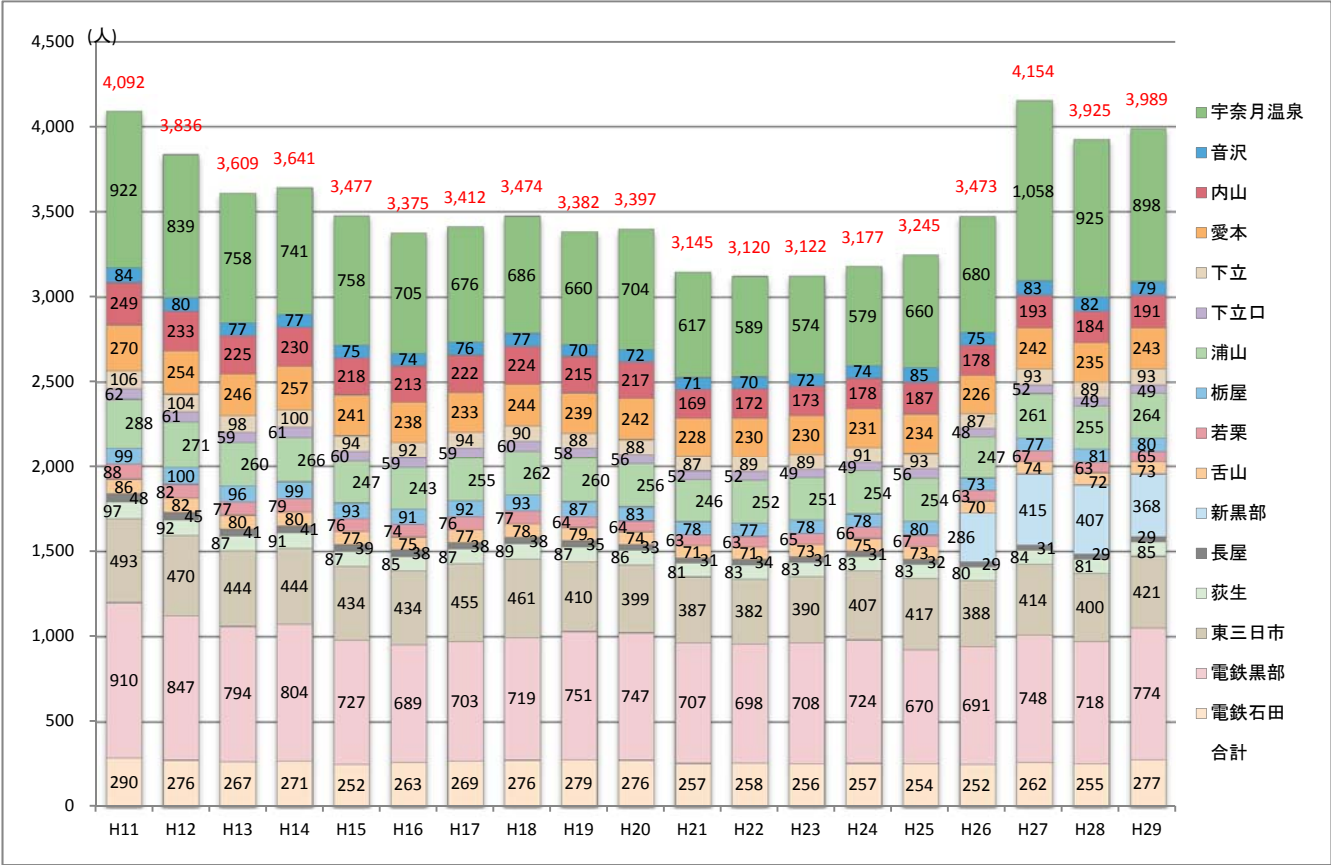


図 富山地方鉄道本線市内駅 1 日あたり乗降客数推移（出典：富山地方鉄道株式会社）

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
電 鉄 石 田	96.7%	101.5%	93.0%	104.3%	102.5%	102.5%	101.1%	98.9%	93.1%	100.4%	99.2%	100.4%	98.8%	99.2%	104.0%	97.3%	108.6%
電 鉄 黒 部	93.7%	101.3%	90.4%	94.8%	102.0%	102.3%	104.5%	99.5%	94.6%	98.7%	101.4%	102.3%	92.5%	103.1%	108.2%	96.0%	107.8%
東 三 日 市	94.5%	100.0%	97.7%	100.1%	104.7%	101.3%	88.9%	97.3%	97.0%	98.7%	102.1%	104.4%	102.5%	93.0%	106.7%	96.6%	105.3%
荻 生	94.6%	104.6%	95.8%	97.1%	102.5%	102.5%	97.8%	98.9%	94.2%	102.5%	100.0%	100.0%	100.0%	96.4%	105.0%	96.4%	104.9%
長 屋	91.1%	100.0%	95.7%	96.9%	99.6%	100.4%	92.1%	94.3%	93.9%	109.7%	91.2%	100.0%	103.2%	90.6%	106.9%	93.5%	100.0%
新 黒 部															145.1%	98.1%	90.4%
舌 山	97.6%	100.0%	95.7%	98.2%	102.1%	101.7%	101.3%	93.7%	95.9%	100.0%	102.8%	102.7%	97.3%	95.9%	105.7%	97.3%	101.4%
若 栗	93.9%	102.6%	95.8%	98.0%	102.1%	101.6%	83.1%	100.0%	98.4%	100.0%	103.2%	101.5%	101.5%	94.0%	106.3%	94.0%	103.2%
栃 屋	96.0%	103.1%	93.8%	98.5%	100.9%	100.8%	93.5%	95.4%	94.0%	98.7%	101.3%	100.0%	102.6%	91.3%	105.5%	105.2%	98.8%
浦 山	95.9%	102.3%	92.9%	98.6%	104.7%	102.7%	99.2%	98.5%	96.1%	102.4%	99.6%	101.2%	100.0%	97.2%	105.7%	97.7%	103.5%
下 立 口	96.7%	103.4%	98.3%	98.9%	100.1%	101.0%	96.7%	96.6%	92.9%	100.0%	94.2%	100.0%	114.3%	85.7%	108.3%	94.2%	100.0%
下 立	94.2%	102.0%	93.6%	97.8%	102.9%	95.5%	97.8%	100.0%	98.9%	102.3%	100.0%	102.2%	102.2%	93.5%	106.9%	95.7%	104.5%
愛 本	96.9%	104.5%	93.7%	98.9%	97.9%	104.7%	98.0%	101.3%	94.2%	100.9%	100.0%	100.4%	101.3%	96.6%	107.1%	97.1%	103.4%
内 山	96.6%	102.2%	94.6%	98.1%	103.9%	101.0%	96.0%	100.9%	77.9%	101.8%	100.6%	102.9%	105.1%	95.2%	108.4%	95.3%	103.8%
音 沢	96.3%	100.0%	97.7%	97.7%	103.9%	100.7%	90.9%	102.9%	98.6%	98.6%	102.9%	102.8%	114.9%	88.2%	110.7%	98.8%	96.3%
宇奈月温泉	90.3%	97.8%	102.3%	93.0%	95.8%	101.5%	96.2%	106.7%	87.6%	95.5%	97.5%	100.9%	114.0%	103.0%	155.6%	87.4%	97.1%
合 計	94.1%	100.9%	95.5%	97.1%	101.1%	101.8%	97.4%	100.4%	92.6%	99.2%	100.1%	101.8%	102.1%	107.0%	119.6%	94.5%	101.6%

表 富山地方鉄道黒部市内鉄道駅の 1 日あたり乗降客数前年比（出典：富山地方鉄道株式会社）

※緑色は前年対比で増加を示す

（５）【路線バス】新幹線市街地線の利用状況

- ・利用状況を月別にみると、平成 30 年度の利用者数はこれまでの年度より増加している。
- ・平成 30 年度の 1 便当たりの乗車人数は 1.8 人で平成 29 年度の 1.4 人から増加している。
- ・YKK 荻生製造所まで延伸した平成 29 年 7 月以降において、利用者数は増加傾向にあり、延伸効果が見られる。しかしながら、他市町から黒部宇奈月温泉駅へのアクセス交通が整備されたことにより、利用状況は想定を大きく下回っている。

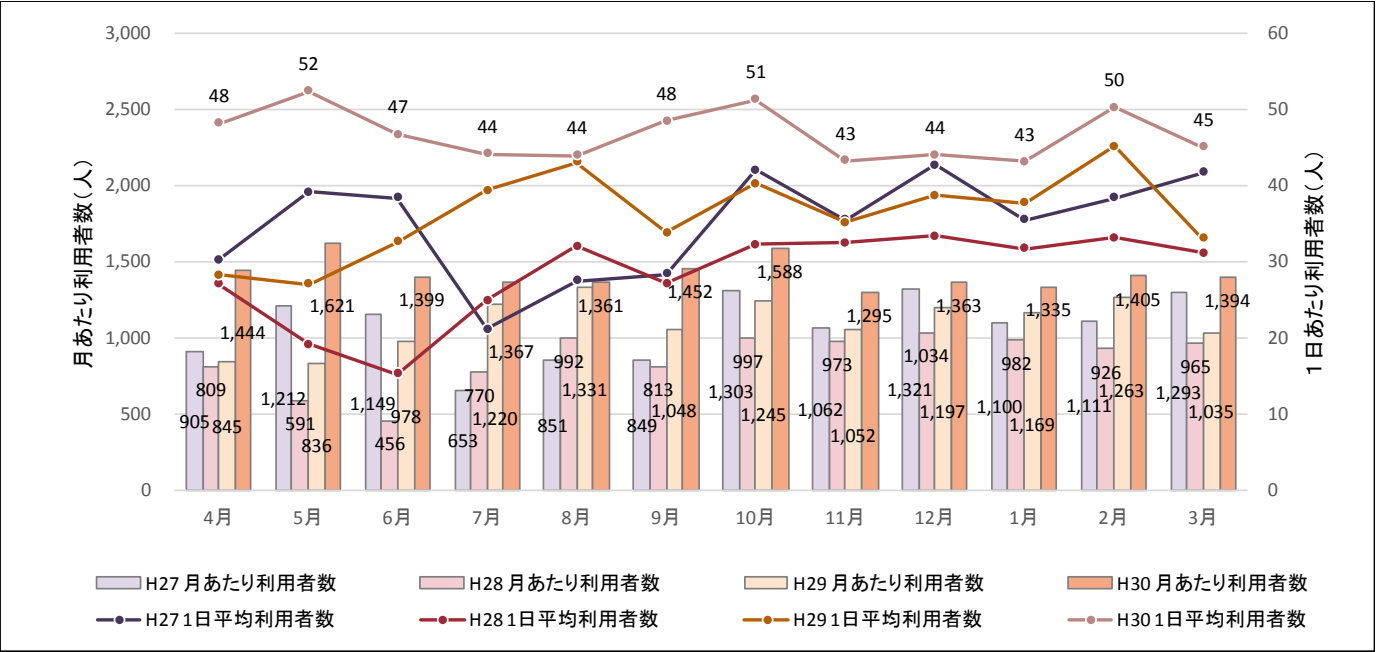


図 新幹線市街地線 月別利用者数の推移

（６）【路線バス】新幹線生地線の利用状況

- ・平成 30 年度の月別利用者数は、いずれの月も前年度を上回る状況であり、増加傾向にある。
- ・系統を増やした平成 29 年 6 月以降は、利用者数が大幅に増加しており、平日 1 日平均 100 人を超える利用で推移している。
- ・平日の 1 日あたり平均利用者数は休日の約 10 倍以上であり、通勤またはビジネスに利用されていると考えられる。

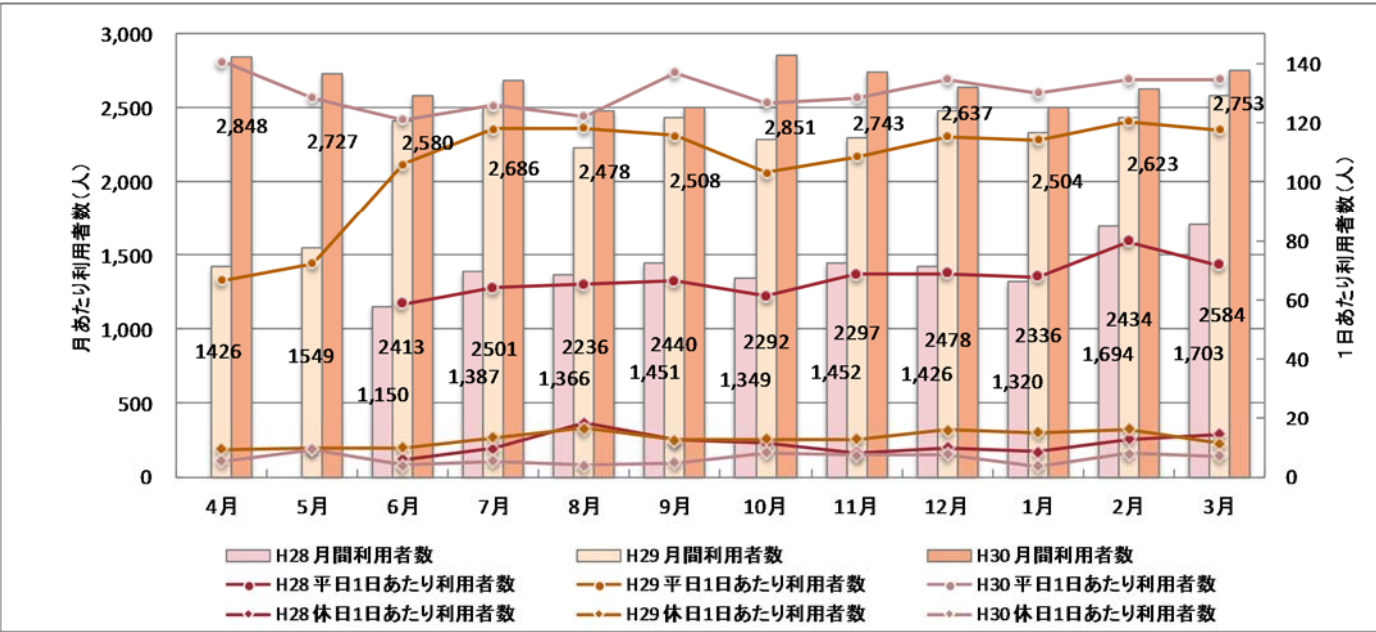


図 新幹線生地線 月別利用者数の推移

（7）【路線バス】 生地循環線の利用状況

- ・ 生地循環線の年間利用者数は、平成 26 年度まで増加傾向にあったが平成 27 年度から減少傾向にある。平成 30 年度は、1 日平均利用者数で平成 29 年度を下回っており、減少傾向が顕著である。
- ・ 1 日あたり平均利用者数は平成 22 年黒部市OD調査より求めた基準値（39 人/日）を上回っている。

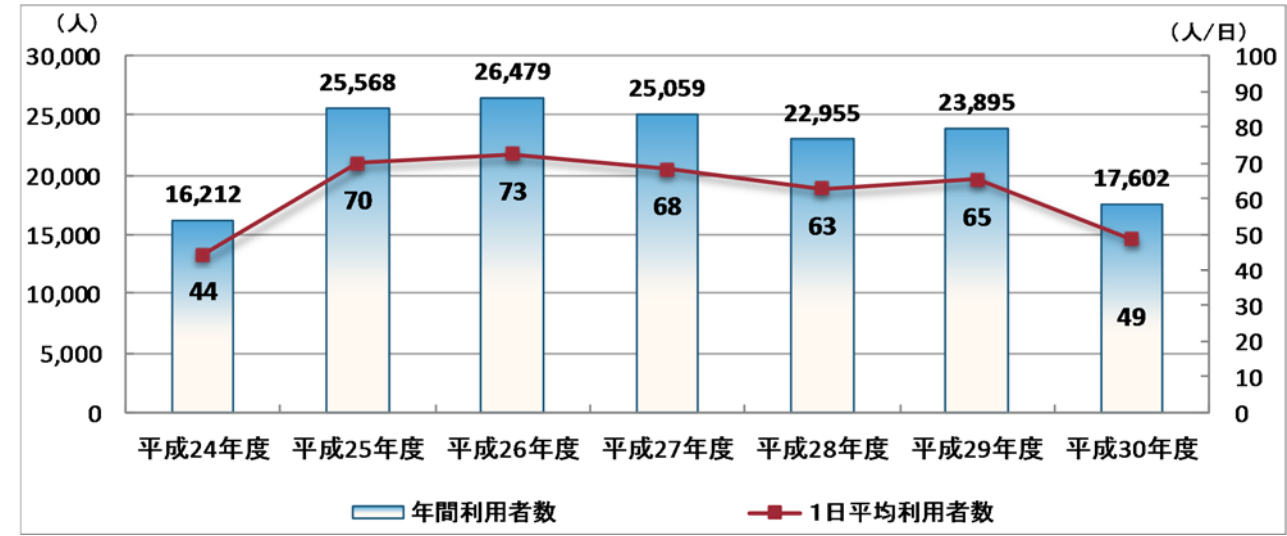


図 生地循環線 利用者数推移

（8）【路線バス】 石田三日市線の利用状況

- ・ 利用者数は増加傾向にあり、平成 30 年度の年間利用者数も前年度の年間利用者数を上回った。
- ・ 平成 30 年度の月あたり利用者数は 8 月に若干落ち込んだものの、増加傾向を持続している。路線全体では 1 日あたり 35 人程度で推移している。

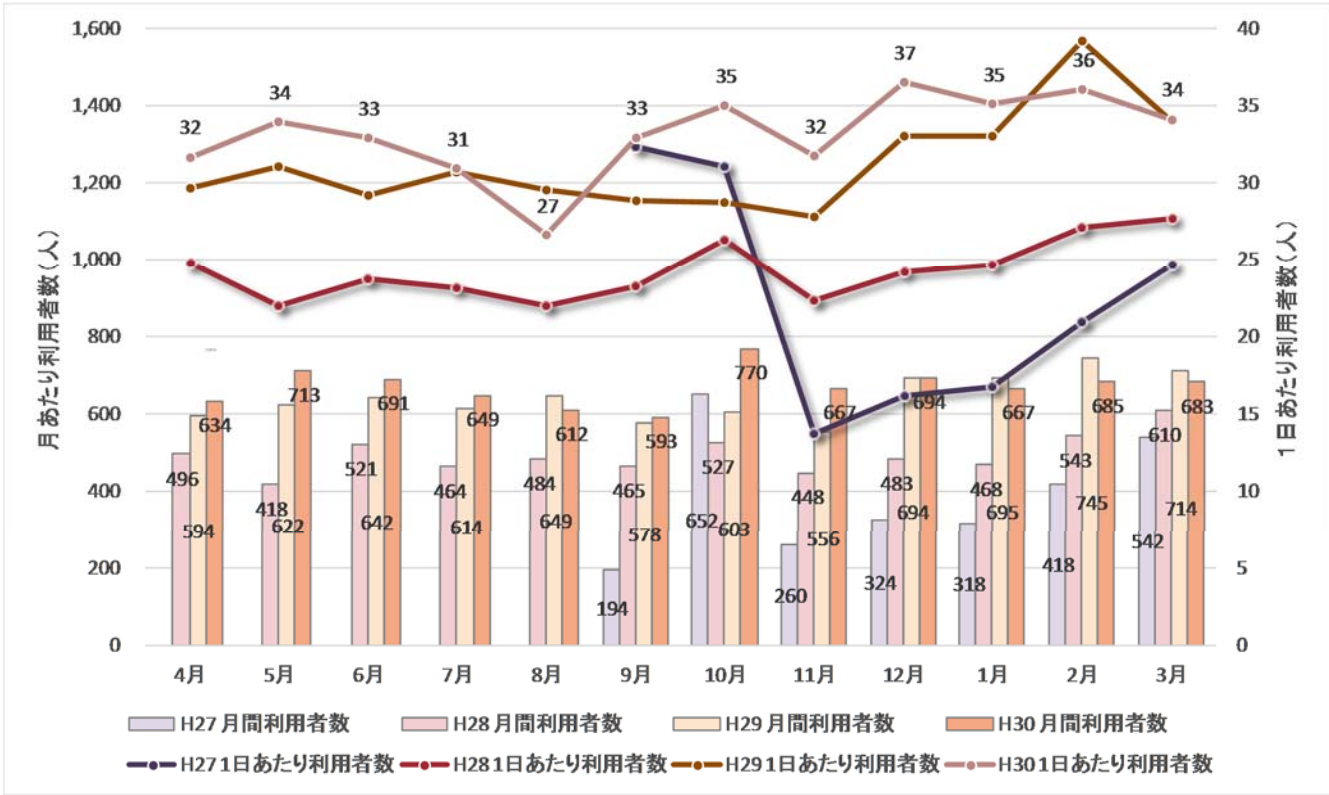


図 石田三日市線 月別利用者数の推移

（9）【路線バス】 池尻線の利用状況

- ・ 平成 25 年度以降は利用者数が増加傾向にある。平成 30 年度からは平日のみの運行となったものの、平成 29 年度よりも利用者数は増えている。
- ・ 1 日あたり平均利用者数も増加傾向にあり、平成 30 年度は平成 29 年度を大きく上回っている。なお、当初計画時の利用者数基準値は 14.9 人/日である。

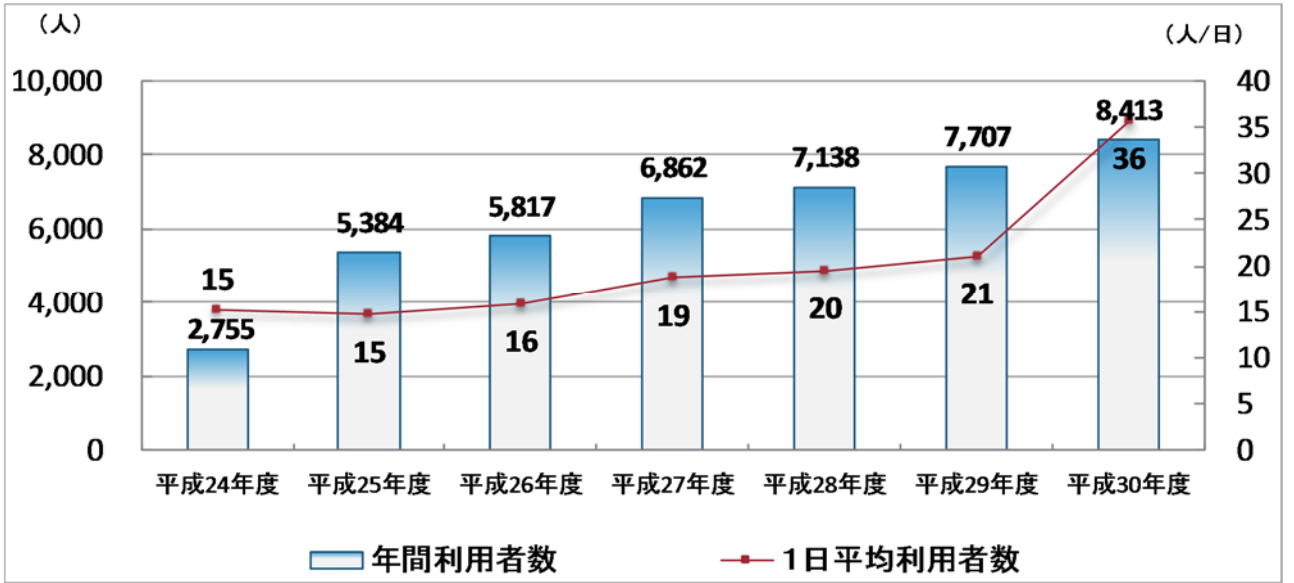


図 池尻線 利用者数推移

（10）【路線バス】 南北循環線の利用状況

- ・ 平成 28 年 10 月から本格運行としており、一般利用も含め、平成 30 年度においては 1 日あたり 409 人程度の利用がある。
- ・ 当初目標としていた 440 人/日（YKK 社員 420 人/日、一般 20 人/日）の利用に対して、社員利用で 30 人/日程度不足している。

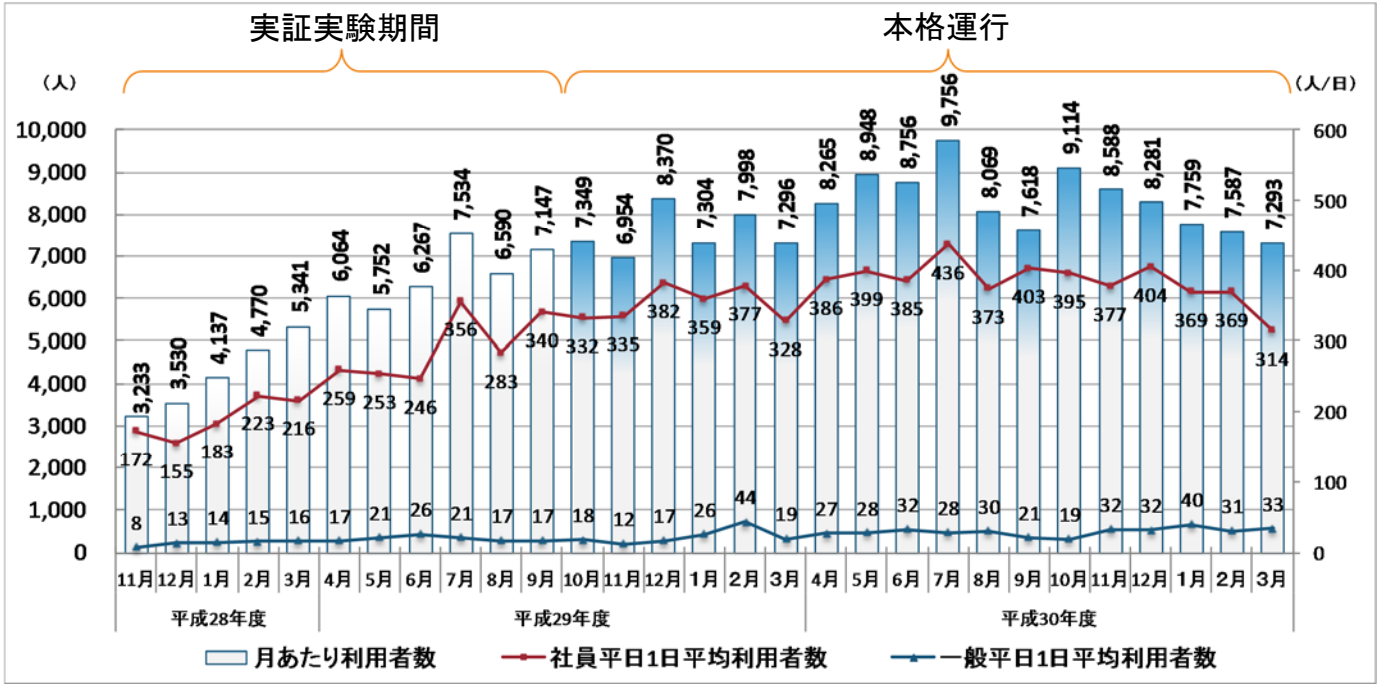


図 南北循環線 利用者数推移

（11）【コミュニティ交通】愛本コミュニティタクシーの利用状況

- ・平成 30 年度は、平成 29 年度とほぼ同様の利用状況となっている。
- ・1 便ごとの利用者数は前年比で増加しているが、近年の平均と同等の利用である。

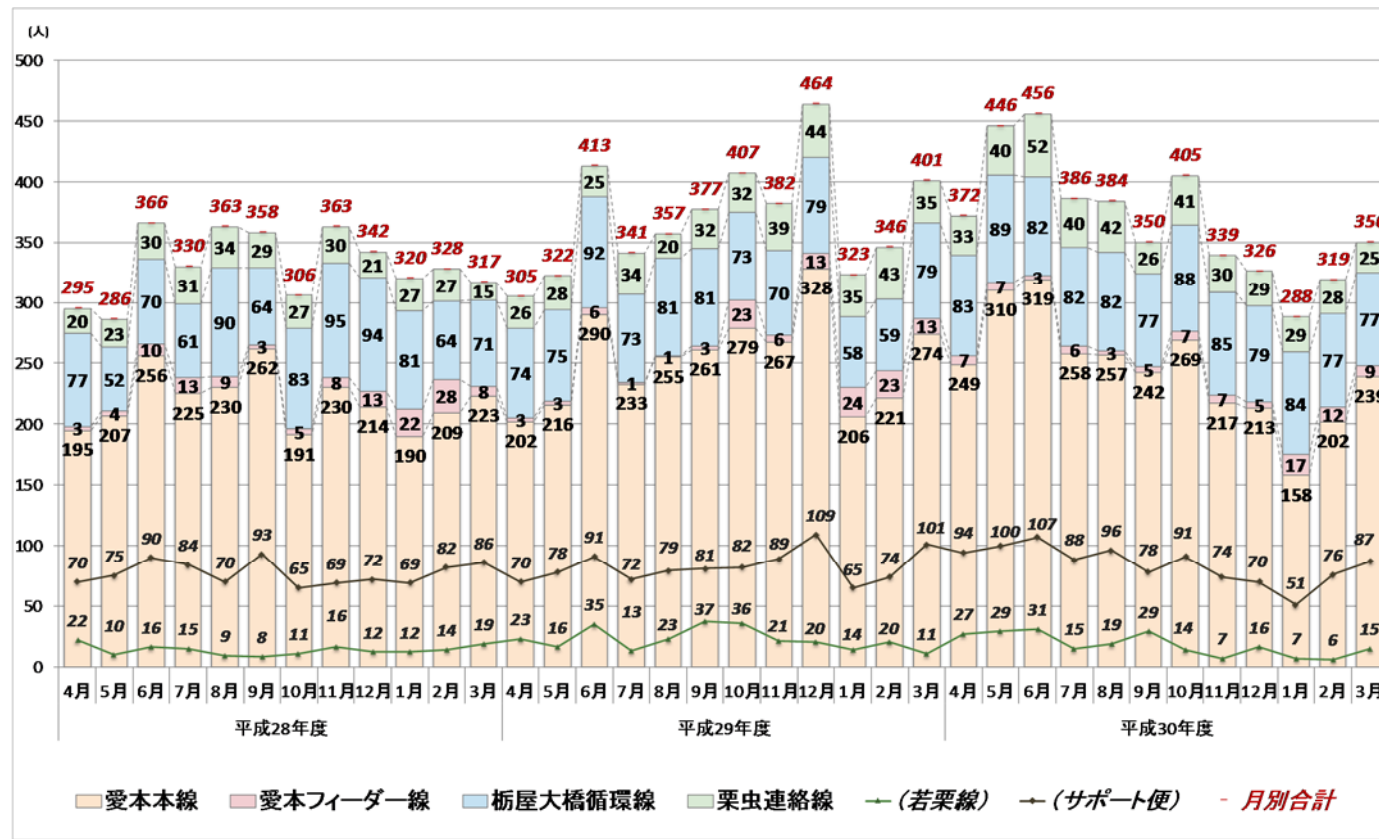


図 愛本コミュニティタクシー 利用者数推移

（12）【コミュニティ交通】デマンドタクシー（田家・前沢地区）の利用状況

- ・平成 30 年度の年間利用者数は、田家地区で減少傾向にあるものの、前沢地区では増加傾向にある。
- ・1 日あたり平均利用者数及び 1 便あたり平均利用者数は田家地区では平成 25 年から減少傾向にある。

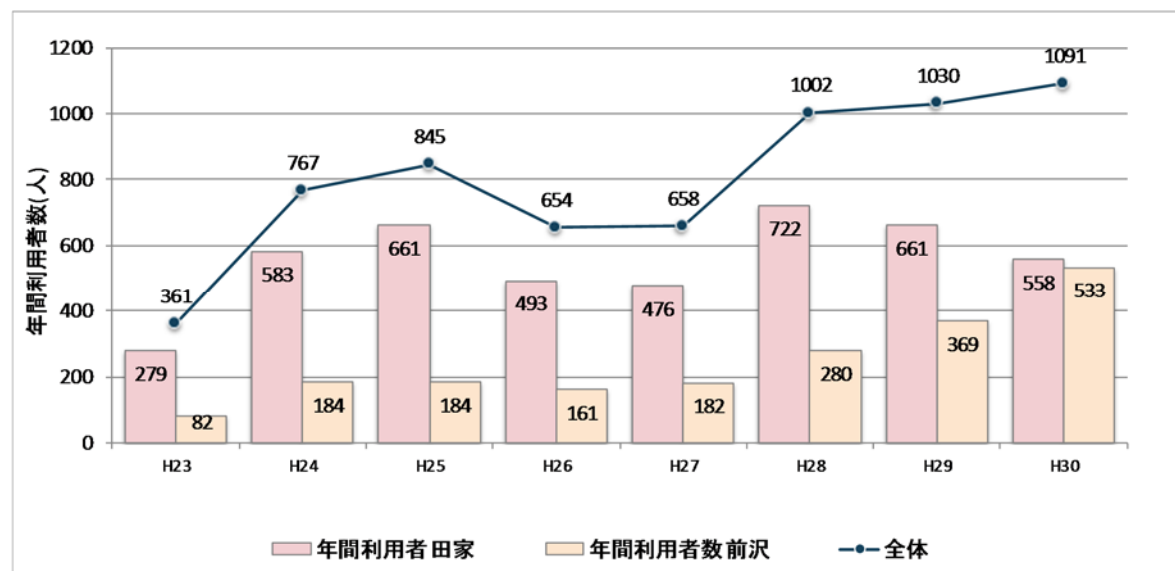


図 デマンドタクシー（田家・前沢地区）年間利用者数推移

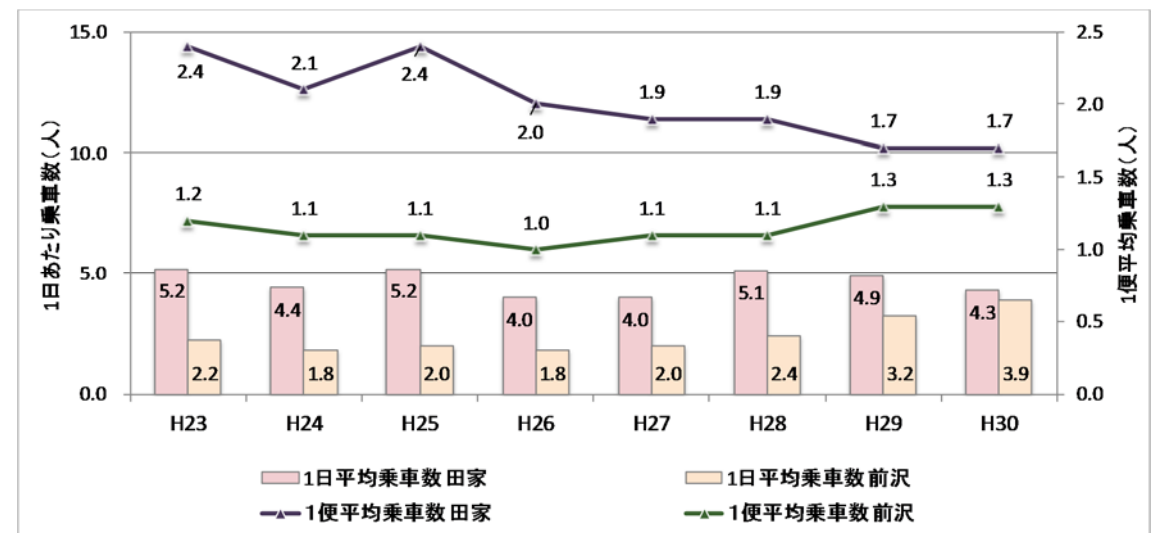


図 デマンドタクシー（田家・前沢地区）1日平均及び1便平均利用者数推移

（13）【コミュニティ交通】デマンドタクシー（村椿・大布施・荻生地区）の概要と利用状況

- ・平成 27 年 11 月の運行開始以降、平成 29 年度までは順調に利用者数が伸びていたものの、平成 30 年度の利用は横ばい傾向にある。
- ・1 日あたり利用者数では、村椿・大布施地区の利用が多い。

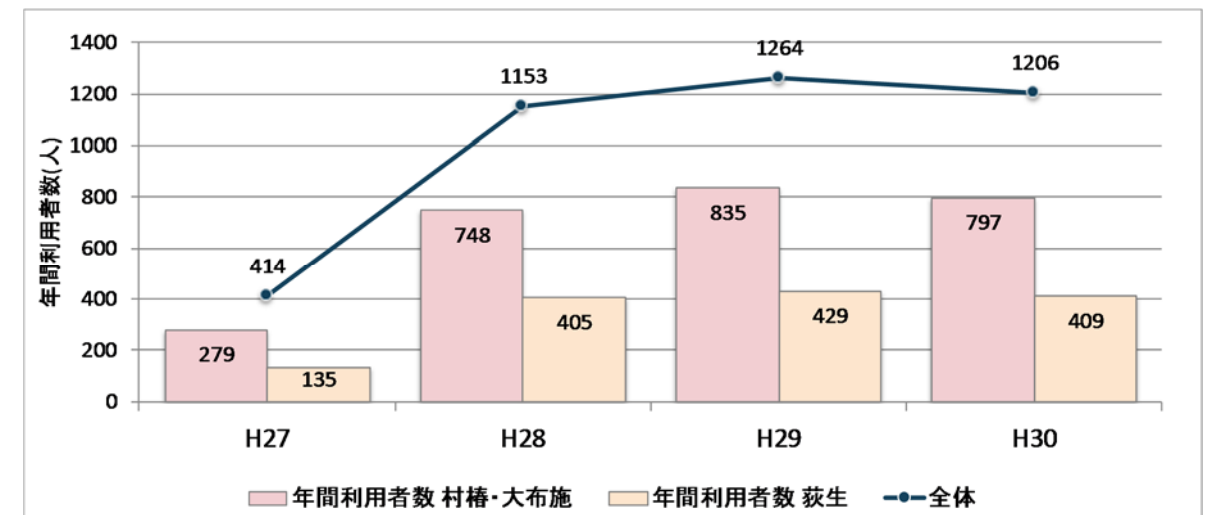


図 デマンドタクシー（村椿・大布施・荻生地区）年間利用者数推移

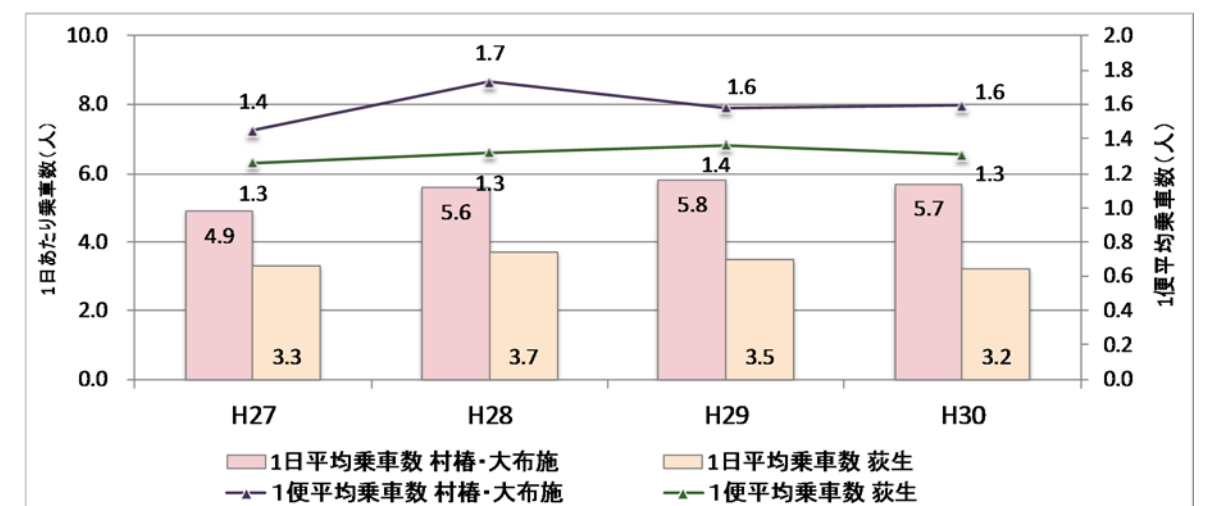


図 デマンドタクシー（村椿・大布施・荻生地区）1日平均及び1便平均利用者数推移

3. 黒部市地域公共交通網形成計画の進捗状況

- ・黒部市地域公共交通網形成計画に位置付けられた 30 の事業について、事業体系ごとに進捗状況を整理する。計画に位置付けられた事業は、着実に実施している。

体系① 新幹線開業効果を高める公共交通網の形成

- ・体系①に位置付けされた事業は、計画どおり事業中である。

実施状況凡例 [●:達成 ○:継続して実施 △:検討]

番号	事業名	平成 29 年度進捗		平成 30 年度進捗	
		実施状況	実施内容	実施状況	実施内容
1	新幹線市街地線の運行	○	・継続的に運行中。 ・通勤需要獲得のため一部便で延伸した結果、利用者数が増加に転じている。 ・さらなる利便性強化と、周辺施設との連携が必要	○	・継続的に運行中。 ・利用者数増につながった延伸効果をさらに上げるため、黒部宇奈月温泉駅西口バス停を新設。 ・利用者が増加している。
2	新幹線生地線の運行	○	・平成 28 年 6 月運行開始し、継続的に運行中。	○	・継続的に運行中 ・順調に利用者数が増加
3	新川地域観光周遊タクシー「にいたく」の運行	○	・運行主体を民間事業者に移行し、民間事業者独自のサービス提供を行うこととなり、引き続き利用状況を把握しつつ必要があればサポートの検討を行う。	○	・引き続き利用状況を把握しつつ必要があればサポートの検討を行う。
4	アルペンライナー(宇奈月温泉立山室堂線)の運行	○	・継続的に運行中。 ・路線維持のために積極的な周知が必要である。 ・H29. 4/29(運行開始)～10/31 土日祝日 65 日運行 利用人数 865 人、1 日平均 13 人、 1 便平均 6.7 人	○	・継続的に運行中。 ・路線維持のために積極的な周知が必要である。 ・H30. 4/29～10/14 土日祝日 67 日運行 利用人数 994 人、1 日平均 15 人、 1 便平均 7.4 人

体系② まちづくりと連動した地域公共交通網の形成

- ・体系②に位置付けされた事業は、計画どおり事業中である。

実施状況凡例 [●:達成 ○:継続して実施 △:検討]

番号	事業名	平成 29 年度進捗		平成 30 年度進捗	
		実施状況	実施内容	実施状況	実施内容
5	生地循環線の運行と定期的な改善	○	・継続して運行中。 ・循環路線を廃止した結果利用状況に改善がみられている。 ・平成 30 年度以降一部路線延伸を行うことで、さらなる利用者増を目指す。	○	・継続して運行中。 ・循環路線を廃止した結果利用状況に改善がみられている。 ・一部路線延伸を行ったが、利用者数は伸び悩んでいる。地元意見を取り入れ来年度ダイヤ編成変更の予定
6	石田三日市線の計画と運行	○	・継続して運行中。 ・運行ルートの改善を行うことで、利用者数が増加に転じている。	○	・継続して運行中。 ・昨年度のルート改善以降、利用者数増加の効果が続いている。
7	【新規】南北循環線の計画と運行	○	・平成 29 年 10 月から本格運行	○	・継続して運行中。 ・当初目標には達していないものの、利用者数は増加傾向。 ・利用者の少ない退勤帯の便を廃止し、赤字額を抑制
8	愛本コミュニティタクシーの運行改善	○	・継続して運行中。 ・各路線は減少傾向にあるため、利用促進策の検討が必要。	○	・継続して運行中。 ・1 便あたり利用者数は前年比で増加したが、近年の平均と同様の水準である。

9	田家・前沢地区でのデマンドタクシーの運行	○	・継続して運行中。 ・前年同様の利用状況となっているが、継続的に利用促進が必要。	○	・継続して運行中。 ・前年同様の利用状況となっているが、継続的に利用促進が必要。
10	村椿・大布施・荻生地区でのデマンドタクシーの計画と運行	○	・継続して運行中。 ・増加傾向が頭打ちの状況となっており、継続的に利用促進が必要。	○	・継続して運行中。 ・前年度と横ばいの状況となっており、継続的に利用促進が必要。

体系③ 公共交通利用環境の整備

- ・体系③に位置付けられた事業は、計画通り事業中である。

実施状況凡例 [●:達成 ○:継続して実施 △:検討]

番号	事業名	平成 29 年度進捗		平成 30 年度進捗	
		実施状況	実施内容	実施状況	実施内容
11	宇奈月温泉駅周辺地区の歩行環境整備	○	・宇奈月温泉駅にエレベーターを設置し、バリアフリー化が達成された。 ・駅周辺地区におけるバリアフリー化については継続して検討を行う。	○	・駅周辺地区におけるバリアフリー化については継続して検討を行う。
12	バス待合環境の改善（モビリティハブの整備）	○	・モビリティハブの設置場所の検討及び基本設計、工事の実施を行った。 ・レンタサイクルの整備や自転車の貸出システムを整備した。	○	・モビリティハブの設置箇所の増加を図った。
13	【新規】無料公共自転車「ちょいのり黒部」の整備・運用	-	・無料公共自転車「ちょいのり黒部」の整備を行った。	○	・継続的に運用していたが、利用者のモラルの悪化に伴い、利用休止。 ・対策について検討し、来年度より再開予定。
14	駅施設の修繕・改善	○	・中学校統合に関し、荻生駅の利用環境整備計画を推進中である。	○	・荻生駅の整備に向け、実施設計を行った。
15	環境配慮型車両、バリアフリー車両の導入	△	・適用路線、車両について検討中。	△	・適用路線、車両について検討中。
16	車両及びバス停のデザイン化促進	○	・モビリティハブデザインやおためし乗車券における市内公共交通デザインの統一。（ブランディングの実施）	○	・モビリティハブデザインやおためし乗車券における市内公共交通デザインの統一。（ブランディングの実施）
17	パーク＆ライド駐車場の整備	△	・適用駅について検討中。	△	・適用駅について検討中。

体系④ 公共交通利用時の利便性向上

- ・体系④に位置付けられた事業は、計画どおり事業中である。

実施状況凡例 [●:達成 ○:継続して実施 △:検討]

番号	事業名	平成 29 年度進捗		平成 30 年度進捗	
		実施状況	実施内容	実施状況	実施内容
18	交通情報提供システムの導入・運用	○	・平成 28 年度に引き続き、バスロケーションシステムとデジタルサイネージの運用を行った。	○	・平成 29 年度に引き続き、バスロケーションシステムとデジタルサイネージの運用を行った。
19	乗継ぎ利便性の確保	○	・定期的に公共交通の利用状況を調査し、ルートの見直しやバス停の廃止、新規設置を行った。 ・北陸新幹線やあいの風とやま鉄道のダイヤ改正にあわせて関係路線のダイヤ改正を実施した。	○	・定期的に公共交通の利用状況を調査し、ルートの見直しやバス停の廃止、新規設置を行った。 ・北陸新幹線やあいの風とやま鉄道のダイヤ改正にあわせて関係路線のダイヤ改正を実施した。

体系⑤ 公共交通の利用促進

・体系⑤に位置付けられた事業は、計画どおり事業中である。

実施状況凡例 [●:達成 ○:継続して実施 △:検討]

番号	事業名	平成 29 年度進捗		平成 30 年度進捗	
		実施状況	実施内容	実施状況	実施内容
20	公共交通情報提供ホームページの運営	○	・継続して「公共交通で行こう」HPを運営した。	○	・継続して「公共交通で行こう」HPを運営した。
21	企画切符の発行	○	・継続してくるワンきっぷを発行した。また、今年度はくるワンきっぷの効果検証のためのアンケート調査を実施した。 ・企画切符とやま一日乗り放題切符に参加した。	○	・継続してくるワンきっぷを発行した。 ・企画切符とやま一日乗り放題切符に参加した。
22	公共交通マップの作成	○	・継続して実施。内容の更新を行う。	○	・継続して実施。内容の更新を行う。
23	モビリティマネジメントの実施	○	・南北循環線の体験乗車会の実施。 ・イベントと連携したおためし乗車券の配布ニュースレターの発行。	○	・8回の体験乗車会の実施。 ・イベントと連携したおためし乗車券の配布ニュースレター、KidsDoの発行。

体系⑥ コンパクトなまちづくりの推進

・体系⑥に位置付けられた事業は、計画どおり事業中である。

実施状況凡例 [●:達成 ○:継続して実施 △:検討]

番号	事業名	平成 29 年度進捗		平成 30 年度進捗	
		実施状況	実施内容	実施状況	実施内容
24	住宅取得支援補助事業の推進	○	・住宅取得支援補助事業を継続して推進している。	○	・継続して実施。
25	都市機能集積の推進	○	・市役所新庁舎への移転、バッシュタウンの第3期完成等、都市機能の集積が着実に進んでいる。	○	・（仮称）くろべ市民交流センターの整備検討が進行中である。

体系⑦ 公共交通に関する調査・計画・評価検証

・体系⑦に位置付けられた事業は、概ね計画どおり事業中である。

実施状況凡例 [●:達成 ○:継続して実施 △:検討]

番号	事業名	平成 29 年度進捗		平成 30 年度進捗	
		実施状況	実施内容	実施状況	実施内容
26	新幹線の利用状況調査	○	・継続して定期的に乗降調査を行った。	○	・継続して定期的に乗降調査を行った。
27	【新規】池尻線とスクールバスの一体的な運行計画の検討	-		△	・今年度スクールバスの一体的な運行について検討を行った。
28	ICTを活用した予約制相乗り型交通システムの実証実験、導入可能性調査、計画検討	○	・東京大学と共同で地方創生交付金を活用した事業を実施。	○	・第2回目の実証実験を実施した。 ・実施結果を検証している。
29	公共交通の評価、検証	○	・継続して計画のフォローアップを行った。	○	・継続して計画のフォローアップを行った。
30	市民意見の聴取、アンケート調査の実施	○	・継続して北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅にて新幹線利用者を対象としたアンケートを実施。	○	・池尻線の検討を通じたアンケート、相乗りタクシー参加者対象のアンケートで意見聴取を行った。